



勉強する子ども きたえる子ども やさしい子ども

# かわひがし

都城市立川東小学校 学校だより



令和7年度 第2号  
令和7年4月30日  
文責 校長

本校の木 やまもも

## 川東小 4月の様子

入学式を終え、川東小の新年度が本格的にスタートしました。4月の学校の様子をお伝えします。



4月20日(日)に本年度1回目の参観日が行われました。

4月23日(水)に、都城警察署のご協力のもと、交通安全教室が全学年で行われました。(写真は5・6年の様子です。)



本年度1回目の参観日はどの学級の参観者率はかなり高かったようで、学校への関心の高さを実感しました。5・6年生を対象とした交通安全教室では、クイズを交えながら自転車の乗り方を中心に具体的な話をしてくださいました。校区内は朝夕の交通量がとても多いので、今回の授業を通して、子ども達が交通ルールの大切さに気づき、「自分の命を自分で守る」という意識を高めていってほしいと思います。

## 校長のつぶやき「子どもが主役となる学びに向けて」

本年度の重点取組の1つとして「子どもが主役となる学び」を掲げ、ICTの活用にも注目して、授業改善を進めていきます。

子どもたちは、日頃の授業でA Iドリルやカメラ機能など、ICTをスムーズに活用しています。特に、A Iドリルはこれまでの授業でなかったもので、得意な子どもには発展問題を、苦手意



算数の授業でA Iドリルの問題にチャレンジしています。

理科の授業でカメラ機能を使い、春の生き物探しをしています。



識がある子どもには基礎問題を繰り返し出題するなど、それぞれの子どもに合った問題をA Iが判断して出題します。また、これまでの授業で問題を解く時間を設定すると、教師は丸つけに追われ、子どもへのアドバイスがなかなかできないことも多々ありました。A Iドリルは自動的に丸つけをしてくれるだけでなく、子どもの理解度が瞬時に分かるので、教師は児童ひとりひとりに合った声かけや支援に多くの時間を割くことができるというメリットもあります。

今の子どもたちは、生まれた時からスマホやタブレットが身近にあった「デジタルネイティブ」と呼ばれる世代なので、大人も驚くほどのスピードでICTを使いこなします。教育の分野でも、ICTが当たり前となった一方で、スマホ依存も問題視されています。学校では情報モラルに関する授業も計画的に行なっていきながら、ICTをバランスよく活用できる児童を育てていきたいと考えています。そのためには、保護者の皆様のご協力も必要です。先日のPTA総会でも紹介のありました「川東小学校の子どもを守る『スマホ・ゲーム・メディアのルール』」を活用して、ご家庭でもルールの確認や声かけを行なっていただくとありがたいです。

## 5月の主な行事

7日(水)	芋の苗植え(2・4年)	23日(金)	租税教室(6年)
8日(木)	習熟タイム、個人面談(15日まで)		くれよん号来校
19日(月)	スクールスポーツ週間(23日まで)	27日(火)	緊急時引き渡し訓練
22日(木)	習熟タイム	29日(木)	修学旅行(6年 30日まで)



←川東小ホームページ  
学校の様子を随時更新しています。  
ぜひご覧ください。



←学校通信の感想フォーム  
先月は返信をいただき、ありがとうございます。  
よろしければ、5月26日までに  
入力してください。学校への要望等は返  
信できませんのでお控えください。